

議案第 23 号 令和 7 年度東郷町国民健康保険特別会計予算

討論一覧(討論順掲載)

反対討論 門原武志 議員

町の頑張りで値上げ回避を

国保税の値上げを前提とした予算だ。一般会計からの法定外繰入が増額されるが、基金が枯渇する見込みだから。いきなり県の標準保険税率に合わせず法定外繰入で増税を段階的に進めようという姿勢を評価する意見があるかもしれないが、標準保険税率に合わせることは義務ではない。赤字補填の法定外繰入に対するペナルティーの影響額は 100 万円で、数世帯分の国保税に相当するだけの額。国保は全国で危機的状況になっており、国の支出による財政基盤の強化が求められるが、その実現の前に町は増税回避にさらに努力すべきだ。

反対討論 中野まさひろ 議員

生活防衛のため保険税の据え置きを!!

現在の諸物価高騰は異常な様相を呈しており、町民の皆さまの生活に大きな不安や経済的な影響が生じている。そして、本町の国保加入者の内、今年度所得ゼロの世帯は 1,391 世帯、滞納者は 250 世帯、財産差し押さえは 116 件であり深刻さを増している。諸物価高騰を受け、県下各市町村においては悪化している住民の皆さまの生活状況を考慮し、国保税の値上げ回避をした市町村が多くなっており、令和 2 年度から 6 年度までの 5 年間で、少なくとも 1 年は国保税の所得割の値上げを回避した市町村は、54 市町村中 44 市町村 (81.5%) に上っている。残念ながら本町は 5 年連続の値上げ、そしてこの予算案は、令和 7 年度の値上げを前提とした予算案である。1 月の「国民健康保険運営協議会」においても、2 名の委員が値上げに反対された。本町においても、少なくとも令和 7 年度は保険税を据え置くべきである。